

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	総合英語	
科目基礎情報						
科目番号	0158		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子機械工学科		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	前期:1 後期:1		
教科書/教材	New English Grammar リーディングにつながる英文法 (成美堂) / TOEIC TEST GRAMMAR (南雲堂)					
担当教員	Woods David					
到達目標						
<p>1 自分の専門分野に関する文章や取り扱い説明書を辞書を使いながら読めば、その概要や必要な情報を大体理解できる。</p> <p>2 自分の専門分野に関する内容について、はっきりとした発音で説明されれば、その概要や実験・作業の手順を大体理解できる。</p> <p>3 自分の専門分野に関する英文アブストラクトや、プレゼン用の英文資料をどうにか自分で書けるようになる。</p>						
ループリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1	自分の専門分野に関する文章や取り扱い説明書を辞書を使いながら読めば、その概要や必要な情報を十分理解できる。	自分の専門分野に関する文章や取り扱い説明書を辞書を使いながら読めば、その概要や必要な情報を大体理解できる。	自分の専門分野に関する文章や取り扱い説明書を辞書を使っても読み進めることができない。			
評価項目2	自分の専門分野に関する内容について、はっきりとした発音で説明されれば、その概要や実験・作業の手順を正しく理解することができる。	自分の専門分野に関する内容について、はっきりとした発音で説明されれば、その概要や実験・作業の手順を大体理解できる。	自分の専門分野に関する内容について、はっきりとした発音で説明されても、その概要や実験・作業の手順を理解することができない。			
評価項目3	自分の専門分野に関する英文アブストラクトや、プレゼン用の英文資料を自分で書けるようになる。	自分の専門分野に関する英文アブストラクトや、プレゼン用の英文資料をどうにか自分で書けるようになる。	自分の専門分野に関する英文アブストラクトや、プレゼン用の英文資料を自分で書けない。			
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	4年次の継続として同じ教科書を用いながら、講読演習を行う。また、TOEIC対策として教材を活用し、TOEICの問題に慣れ親しみ、受験に備える。					
授業の進め方・方法	テキストを中心に授業を進める。今年度はLesson 7から授業を開始する。また、毎回授業の始めに副教材を活用しながらTOEICの問題に慣れる。					
注意点	前期に5年生全員がTOEICを受験する(受験料は個人負担)。後期には希望者対象で実施する予定である。ポートフォリオはノート提出、及び、小テストなどの点数を評価対象とする。発表は授業中の発言を数値化する。態度は出席を基本とし、正当な理由無く欠席や遅刻した場合は減点を行う。また、授業中の態度も同様に評価対象とする。					
授業計画						
	週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1週	オリエンテーション Lesson 7 完了形 (1)	授業の進め方の説明 現在完了形についての解説、及び、問題演習を行う。			
	2週	Lesson 7 Public Works for the State and for the Citizens Section 1 不定詞 動名詞 分詞	長文読解を進めながら内容把握を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。			
	3週	Lesson 7 Public Works for the State and for the Citizens Section 1 不定詞 動名詞 分詞	長文読解に引き続き、内容把握問題の演習を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。			
	4週	Lesson 8 完了形 (2) Section 1 不定詞 動名詞 分詞	過去完了形、未来完了形についての解説、及び、問題演習を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。			
	5週	Lesson 8 Riding an Old Steam Train Section 1 不定詞 動名詞 分詞	長文読解を進めながら内容把握を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。			
	6週	Lesson 8 Riding an Old Steam Train Section 2 接続詞 時制 態 仮定法	長文読解に引き続き、内容把握問題の演習を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。			
	7週	Lesson 9 助動詞 (1) Section 2 接続詞 時制 態 仮定法	助動詞can, may, mustの用法についての解説、及び、問題演習を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。			
	8週	中間試験				
	2ndQ	9週	試験返却、解説 Section 2 接続詞 時制 態 仮定法	誤答を訂正できる。 TOEIC形式の問題演習を行う。		
		10週	Lesson 9 Farm Stays Section 2 接続詞 時制 態 仮定法chapter 4	長文読解を進めながら内容把握を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。		
		11週	Lesson 9 Farm Stays Section 3 動詞 助動詞	長文読解に引き続き、内容把握問題の演習を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。		
		12週	Lesson 10 助動詞 (2) Section 3 動詞 助動詞	助動詞would, should, ought to, used to, 助動詞+have+過去分詞の用法についての解説、及び、問題演習を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。		
		13週	Lesson 10 Is Sunshine Really bad for Us? Section 3 動詞 助動詞	長文読解を進めながら内容把握を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。		
		14週	Lesson 10 Is Sunshine Really bad for Us? Section 3 動詞 助動詞	長文読解に引き続き、内容把握問題の演習を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。		
		15週	期末試験			
		16週	試験返却、解説	誤答を訂正できる。		

後期	3rdQ	1週	Lesson 11 関係詞 (1) Section 4 形容詞 副詞 比較	関係代名詞の用法についての解説、及び、問題演習を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。
		2週	Lesson 11 What's in a Name? Section 4 形容詞 副詞 比較	長文読解を進めながら内容把握を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。
		3週	Lesson 11 What's in a Name? Section 4 形容詞 副詞 比較	長文読解に引き続き、内容把握問題の演習を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。
		4週	Lesson 12 関係詞 (2) Section 4 形容詞 副詞 比較	関係代名詞の応用、関係副詞についての解説、及び、問題演習を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。
		5週	Lesson 12 You Are What You Eat Section 5 名詞 冠詞 代名詞 関係詞	長文読解を進めながら内容把握を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。
		6週	Lesson 12 You Are What You Eat Section 5 名詞 冠詞 代名詞 関係詞	長文読解に引き続き、内容把握問題の演習を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。
		7週	Lesson 13 態 (1) Section 5 名詞 冠詞 代名詞 関係詞	受動態、基本的な構文の受動態についての解説、及び、問題演習を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	試験返却、解答 Section 5 名詞 冠詞 代名詞 関係詞	誤答を訂正できる。 TOEIC形式の問題演習を行う。
		10週	Lesson 13 A car for the Blind? Section 6 前置詞	長文読解を進めながら内容把握を行う。TOEIC形式の問題演習を行う。
		11週	Lesson 13 A car for the Blind? Section 6 前置詞	長文読解に引き続き、内容把握問題の演習を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。
		12週	Lesson 14 態 (2) Section 6 前置詞	注意すべき受動態についての解説、及び、問題演習を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。
		13週	Lesson 14 Talking Drums Section 6 前置詞	長文読解を進めながら内容把握を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。
		14週	Lesson 14 Talking Drums Section 6 前置詞	長文読解に引き続き、内容把握問題の演習を行う。 TOEIC形式の問題演習を行う。
		15週	期末試験	
		16週	試験返却、解答	誤答を訂正できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3

評価割合

	試験	ポートフォリオ	発表	態度			合計
総合評価割合	60	20	10	10	0	0	100
基礎的能力	60	20	10	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0